



楽しみながらも、大切なことを学んだ自然教室(1年生)



4月26日(木)～27日(金)の1泊2日で、四日市自然の家を拠点に1年生が活動してきました。ホームページで当日速報として、出発式・入所式から退所式まで19件紹介させていただきました。ご覧いただいた方もあろうかと思います。

(1日目)『環境学習(大切な水について)』、『アスレチック』、『飯ごう炊さん』、『キャンドルファイヤー』、(2日目)『ハイキング』、『創作活動(集めてきた枝や木の実を使ったネーチャークラフト)』、『学年レク』を行いました。素晴らしい晴天に恵まれ、輝く新緑の中で、一つ一つの活動をしっかりとやり切りました。

一方、活動内容が詰まっていて、1日目はそれぞれの活動の時間が遅れてしまい、『キャンドルファイヤー』は予定の活動時間を短縮して行うことになりました。そこから、教師側の全体を見通した活動内容や時間設定の組み方と、生徒たちの時間に合わせた動き方に課題が見つかりました。特に気が付いたことは、活動の始まりの時間は意識できているけれど、終わりの時間を見据えて、「いつまでにどの場所を通過すれば間に合うか」とか、「移動の時間は考えているか」とか、「後片付けにはどれくらいの時間を見込んでおくか」など、その場の活動を楽しんだり一生懸命にこなしたりするだけでなく、限られた時間の中で何を優先したり、何を省いたり変更したりするかということを考える大切さでした。



そこで、2日目の朝に、先生も生徒もこのことを確認して活動を始めました。そのことがみんなに伝わったのか、2日目は予定通りに、しっかりと活動が進み、特に『学年レク』では、学級や学年のなかまの雰囲気が一気に盛り上がりました。そして、時間にも余裕が生まれ、前日にできなかった歌「この星に生まれて」をみんな合唱することもできました。

時間の都合で、夜に食べることができなかったメロンパンを解散式でもらった時の生徒たちの嬉しそうな笑顔が記憶に残っています(^.^) 今後も自然教室でつながった絆を大切に、学校での教育活動を進めていきます。

当日の活動の様子をもっと詳しく知りたい方は、学年通信(1年生)NO.3をご覧ください。

安全な自転車通学をめざして!(Part2)

前号でお伝えした自転車通学の様子の続きです。

PTA(環境部)の登校指導(4/25)ありがとうございます。一緒に参加した教員からもその時の様子で気になったことを各学年で共有し、生徒たちに伝えています。

以前から気にかけているかわしま園から学校に向かってくる通学路(農道)途中の十字路の横断についても、何度か見に行く中で、止まる前にまず走行スピードを緩めるなど、だんだんと意識してくれる生徒が増えてきていると感じています。また、車を運転している方々も状況をよく知っていてくださって、通学路側が「止まれ」にもかかわらず、徐行や停止をして、子どもたちが安全に渡り切るまで見守っていただいています。地元ならではの光景であり、地域の皆様の思いやりを感じる瞬間でもあります。